

## 令和4年度における森林環境譲与税の使途公表

事業名	事業総額（千円）		事業内容	
	(A)+(B)	(A)うち森林環境譲与税（千円）		(B)うち他の財源（千円）
北島小学校北棟昇降口改修工事	9,130	1,983	7,147	教育機関における下足箱の老朽化に伴う更新工事。
森林環境事業補助金	254	242	12	那賀町・北島町の小学生親子を対象とした、任意参加型の森林環境教育および木材利用の学習を行う交流イベントを実施。
幸せの花咲くひょうたん島事業	297	297	0	町民に対し、木材の効果や役割を広く周知・啓発を行うため、県産材を使った木粉簡易トイレキットを購入し、イベント開催時等に配布。

本町では本税を公共施設等の木材利用や啓発活動に活用することとしている。令和4年度は老朽化が指摘されていた小学校の下駄箱を木製に更新し、本税の一部を活用した。

令和元年度以降新型コロナウイルス感染拡大のためできずにいた、那賀町との交流木育ツアーを再開。町内3小学校の児童に対し募集を行い、昨年度は板野町と北島町にて実施。板野町の徳島木のおもちゃ美術館では、木材の生産から消費まで森林の役割について理解を深め、日々の暮らしの中で受けることができる恩恵を学習した。また、積み木を使用して建築体験を行い、同じ木造の建物でも地域に合わせた特性を持つ必要があることを学んだ。

北島町では仏壇の製造過程について工場見学を実施。木には様々な種類があり用途に合わせた材質を選ぶことや、木工体験を通して材質による加工のしやすさ等の違いを体験。職人による手作業を見学し、一つの製品を造るにあたり繊細な作業が必要になることや、木材消費地での使途を学んだ。

幸せの花咲くひょうたん島事業では、町が主催のイベント時に県産材を使用した木粉簡易トイレを配布。訪れたイベント参加者および関係者に、日常生活における木材の持つ効果や役割を広く周知・啓発し好評だった。